

番号	対象年齢A/B	形式	ジャンル	タイトル	問題文	正解選択肢	解説
1	B)小学校高学年	○×	算数	数字	偶数と奇数を掛けると、答えは必ず偶数にある。○?×?	○	掛け算の数字に偶数が含まれていると、答えは必ず偶数になります。
2	B)小学校高学年	○×	算数	数字	20人で多数決を取った場合、「過半数」とは11人以上のことである。○?×?	○	全体の半分を超える数、が過半数になります。よって10は過半数にならず、11以上が該当します。
3	B)小学校高学年	○×	社会	数字	日本の都道府県名に数の単位が使われているのは、「千」が使われている「千葉県」だけである。○?×?	×	兆の上に京(けい)という単位があり、その字が東京都と京都府の「京」として使われています。
4	B)小学校高学年	○×	算数	数字	2人で1度だけジャンケンをしたとき、自分が負けぬ確率は50パーセント以上である。○?×?	○	勝つ確率は3分の1、負ける確率も3分の1ですが、あいこになる確率も同じく3分の1あります。よって「負けぬ」確率は3分の2(66.6パーセント)になります。
5	B)小学校高学年	○×	算数	数字	一、十、百、千、万、億、兆と続く数字の単位。漢字では一より小さい数の単位の表現はない。○?×?	×	10分の1の「分(ぶ)」、100分の1の「厘(りん)」、1000分の1の「毛(もう)」などといったように、1より小さい小数を表す単位もあります。
6	B)小学校高学年	○×	算数	数字	重さの単位「トン」は、成長したブタ1頭の重さが基準になって決められた。○?×?	×	1000kgを1とする単位です。酒樽の中身の量を確かめるために叩いた時のトンという音が由来とされていて、ブタとは全く関係がありません。
7	B)小学校高学年	○×	算数	数字	数字の1から100までをすべて足すと、ちょうど5000になる。○?×?	×	わかりやすい計算方法だと、1+99、2+98…48+52、49+51とそれぞれ答えが100になる計算式が1から100の間に49組できあがり、これで100×49で4900。それに余った50と100を足すと5050となります。
8	B)小学校高学年	○×	算数	数字	万、億、兆といった数の数え方の単位には漢字3文字のものもある。○?×?	○	数の数え方の単位を万から並べると、万、億、兆、京(けい)、垓(がい)、じよ(のぎへんに「予」)、穰(じょう)、溝(こう)、澗(かん)、正(せい)、載(さい)、極(ごく)、恒河沙(こうがしゃ)、阿僧祇(あそうぎ)、那由多(なゆた)、不可思議、無量大数と続き、漢字3文字どころか、漢字4文字のものもあります。
9	B)小学校高学年	○×	算数	数字	「3.14」などのように、小数点の書き方は全世界共通である。○?×?	×	日本やアメリカでは「3.14」と表記しますが、イギリスでは「3・14」、フランス、ドイツ、イタリアなどではコンマを使って「3,14」と表記します。
10	B)小学校高学年	○×	算数	数字	数字の「0」を考案したのは日本人である。○?×?	×	「0」を考案したのはインド人で、5世紀頃にはすでにインドでは使われていたそうです。